

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

さなぎ 蛹の時間を支えましょう

——ご家族と学校の志は同じ

校長 清田 博之

今日は、高学年児童の保護者の皆様向けのお話になりますが、低・中学年の保護者の皆様にも、すぐそこにせまった事として考えていただければ幸いです。

私には、すでに成人した女の子と男の子が一人ずついます。小さいときには、休日で一緒に過ごしていると、ちょっとトイレに行くにも「パパ、パパ」と後追いされて「トイレぐらいゆっくりさせてよ。」と思うこともありました。そんな子どもたちも、娘は高学年、息子は中学生になったあたりからあまりしゃべらなくなり、何か聞いても「別に」と、うるさそうに答えるだけ。時々「不機嫌の塊」になって、こっちも苛立つこともありました。

高学年から中学生の4～5年間は「蛹の時間」と呼んでもいいでしょう。幼虫が成長をして、やがて蛹になるとき、体の中で大変化が起こっているそうです。これまであった内臓が全部形を無くし、新しい器官に再構築される。けれども外からはそれが見えない。ちょっと不気味な形になって、じーっとしています。内面の再構築が起こっている高学年から中学生の場合、もっと長い時間がかかります。話しかけても返事は芳しくない、何を考えているかわからない。これまでの快活さはどこにいったの？何かあったのではないか？蛹の中身を開けて覗いてみたい気持ちにもなります。だって、心配だから。あんなに屈託なくかわいい子どもがどうしちゃったのって。



だから「きっと学校で何か嫌なことがあったに違いない。」と思うのは自然なことです。

我々、教員は蛹の季節を生きる子どもたちを見ているので、感情のコントロールがうまくできない、子細なことにこだわって一步を踏み出せない、時に心を閉ざす子どもたちを見守り、その成長に伴走します。「生きるという自然」その自然を支配しようとする、時に取り返しのつかないことになるから。

待つ時間は長く感じます。そんな不安な時、困ったときは私たちが対話しましょう。子どもという大事な命を真ん中に据えて、ご家族と学校はいつも一緒に、どうしたらよいかを考え、行動する同志です。遠慮はいりません。いつでも大歓迎です。蝶になって飛び回る日を胸に描いて、一年間よろしくお祈りします。



心の相談ポストです。保健室と「ゆとろぎ相談室」の前においてあります。子どもだけでなく、保護者の皆様からのご相談も大歓迎です。

稲荷木小の教職員の中から、ご希望の者が対応いたします。

今年の基本方針について③

○体育や運動時におけるマスク着用について

気温が高くなり少し体を動かすと汗ばむこともある季節となりました。来週からは、イナリンピック 2021（今年度の運動会名）に向けての練習も始まります。そこで、体育や休み時間に遊んだりする場合の「マスクの着用について」検討をしました。市川市の生活ガイドラインでは、次のように定められています。「原則、体育の授業中もマスクを着用する。但し、運動の内容や気候等からマスクを外してもよい。」

しかし、上記のような内容だとマスクの着脱についての判断を児童に委ねてしまうことにもなり危険が伴います。そこで、運動時のマスクの着脱について、本校では以下のようにします。

- ①マスク着脱の判断は、気候や運動内容を総合的に判断して**体育指導時の教員**が行う。
- ②**原則、「マスクを外して運動しましょう」と呼びかける。**マスクを外すことに抵抗がある児童には強制はしない。指導者が、注意深く児童の様子を観察する。
- ③マスクを外した際は、無言。また、清潔な状態でマスクを保管できるようにビニル袋等を持たせる。

○「稲荷木フェスティバル」の中止について

10月30日（土）に予定されていた「稲荷木フェスティバル」については、感染防止の観点から、残念ながら**今年度は中止**とさせていただくことになりました。楽しみにしていた児童、PTAの皆様には申し訳ありませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。なお、10月30日（土）は**通常の土曜日と同じ扱いで休業日**。振替休業日の予定になっていた11月1日（月）は**登校日**となります。また、10月下旬の平日に授業参観と懇談会を実施する予定です。（詳しい日程については決まり次第お知らせします。）

分散授業参観 4月27日（火）3・4校時

今年度第1回目の授業参観が、4月27日（火）に実施されました。感染症対策として、密を避けるために出席番号の奇数・偶数グループの2分割による形式で実施をしました。

平日ではありましたが、多くの保護者の皆様に参観いただきありがとうございました。子どもたちの学習の様子を見ていただく機会を設けるといことは、「子どもたちの学習への意欲づけ」「学校と家庭との連携」という意味で非常に大きな意味をもちます。今後も、感染防止に十分に配慮しながら実施してまいります。

